

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 7 部門第 1 区分  
【発行日】平成 18 年 10 月 5 日 (2006.10.5)

【公開番号】特開 2001-143505 (P2001-143505A)  
【公開日】平成 13 年 5 月 25 日 (2001.5.25)  
【出願番号】特願 平 11-322405  
【国際特許分類】

**F 2 1 S 8/10 (2006.01)**

**F 2 1 V 11/00 (2006.01)**

【F I】

F 2 1 M 3/14

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 8 月 23 日 (2006.8.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 反射鏡と、反射鏡の第一焦点近傍に配置された光源と、反射鏡の第二焦点近傍に配置された遮光部材と、遮光部材の近傍に焦点を有する投影レンズを備え、前記遮光部材の可動により配光特性形状の切換えを行う車両用灯具において、

前記配光特性形状の切換は、遮光部材の回転を行う回転軸を有する回転式駆動部により行うものであり、前記回転式駆動部には、配光位置を与えるストッパーが設けられ、

前記回転軸には、前記遮光部材が直接的に駆動可能に設けられ、且つ、前記駆動部が非通電状態とされたときに 2 つの配光位置の内の何れか一方の位置に復帰させるリターンスプリングが設けられていることを特徴とする車両用前照灯。

【請求項 2】 前記回転式駆動部は、前記回転軸を同芯とした外軸と内軸との二重とし、弾性を有する連結部材で接続され、

前記外軸と内軸の一方の軸に前記ストッパーが設けられ、他方の軸に前記遮光部材が設けてあることを特徴とする請求項 1 に記載の車両用前照灯。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 1】

【発明の属する技術分野】

本発明は車両用の前照灯に関するものであり、詳細には、1 つの光源ですれ違い配光と走行配光、或いは、直進時配光と旋回時配光など 2 つの配光特性の形状が得られるように可動とした遮光部材が設けられ、この遮光部材をの可動するための部が設けられ、この可動部の駆動のための回転式駆動部が設けられてなる車両用前照灯の構成に係る。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

**【課題を解決するための手段】**

本発明は前記した従来課題を解決するための具体的手段として、反射鏡と、反射鏡の第一焦点近傍に配置された光源と、反射鏡の第二焦点近傍に配置された遮光部材と、遮光部材の近傍に焦点を有する投影レンズを備え、前記遮光部材の可動により配光特性形状の切換えを行う車両用灯具において、前記配光特性形状の切換えは、遮光部材の回動を回動軸を有する行う回転式駆動軸により行うものであり、前記回転式駆動部には、配光位置を与えるストッパが設けられ、前記回転軸には、前記遮光部材が直接的に駆動可能に設けられ、且つ、前記駆動部が非通電状態とされたときに２つの配光位置の内の何れか一方の位置に復帰させるリターンスプリングが設けられていることを特徴とする車両用前照灯を提供することで課題を解決するものである。